

のり海況速報 第2報 (26-2)

平成26年10月 2日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/1：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(9/18-10/2)、東京湾口海況図(9/18-10/2)
 自動観測ブイデータ(9/18-10/2)、拓南観測データ(9/17-10/2)
 モニタリングポスト(10/1：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)はおおむね22℃台で、前回(9/16)に比べて約2℃下がっています。塩分は30~32台で、平年よりやや高めになっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温、塩分とも水深10m以深では成層状態になっています。
- ・内房北部の表層水温も22℃台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は9月中旬頃から小康状態になっていますので、この影響は少ない模様です。

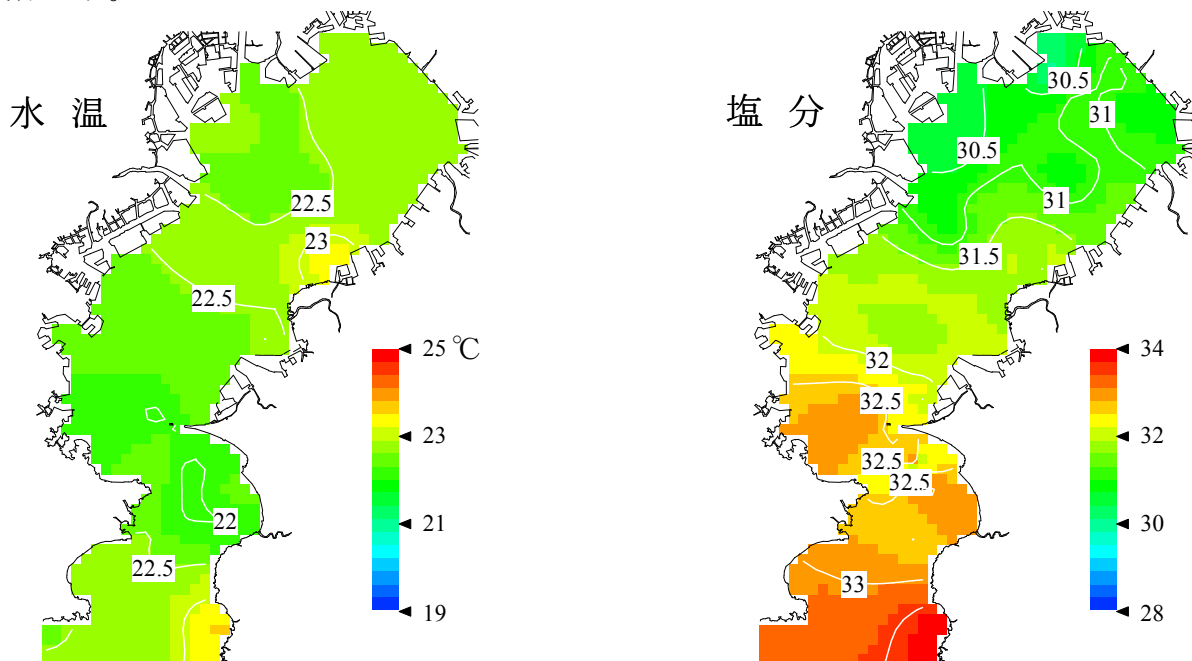


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年10月 1日)

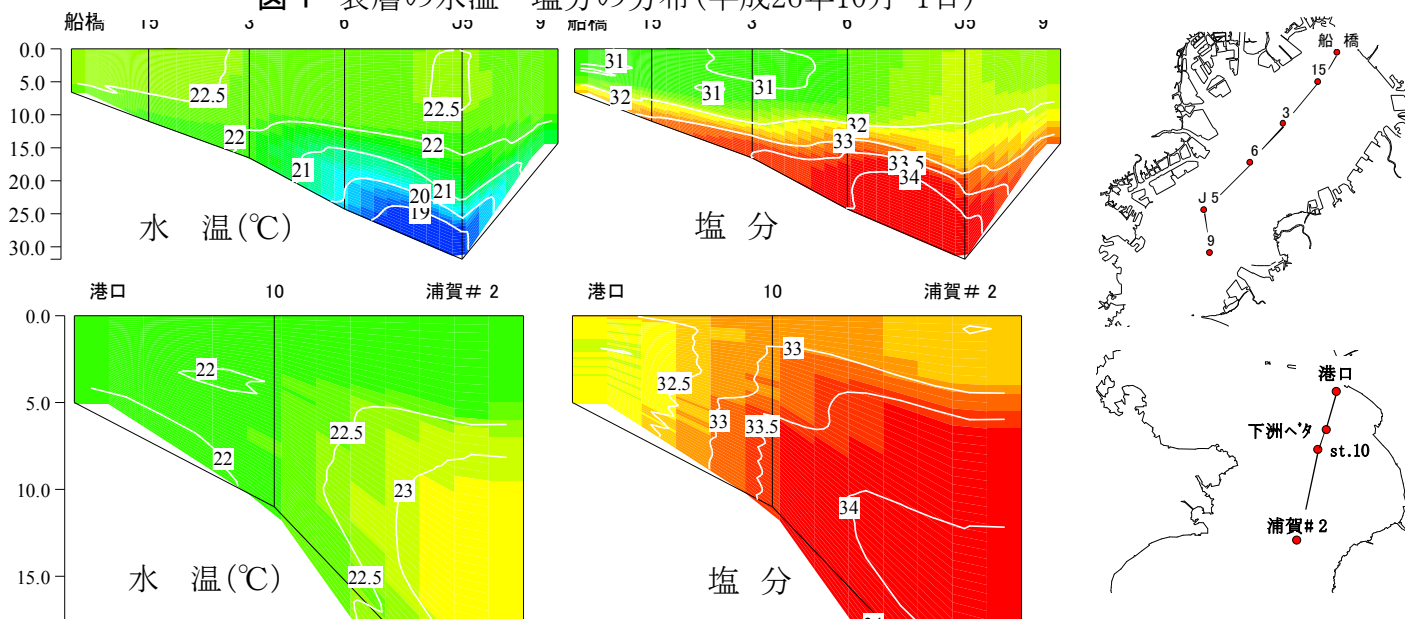


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成26年10月 1日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は船橋から千葉にかけての沿岸で発生し、pH8.4~8.5、透明度2m台で、水色も褐色を呈する状態でした。
- 優占種はケイ藻のタラシオネマで、その他にシュードニッチアや渦鞭毛藻のケラチウムがみられていました。
- 表層の栄養塩(図3)は内湾北東部海域で窒素(DIN)が少ないところが見られますが、各地区のノリ漁場周辺では問題ない濃度です。

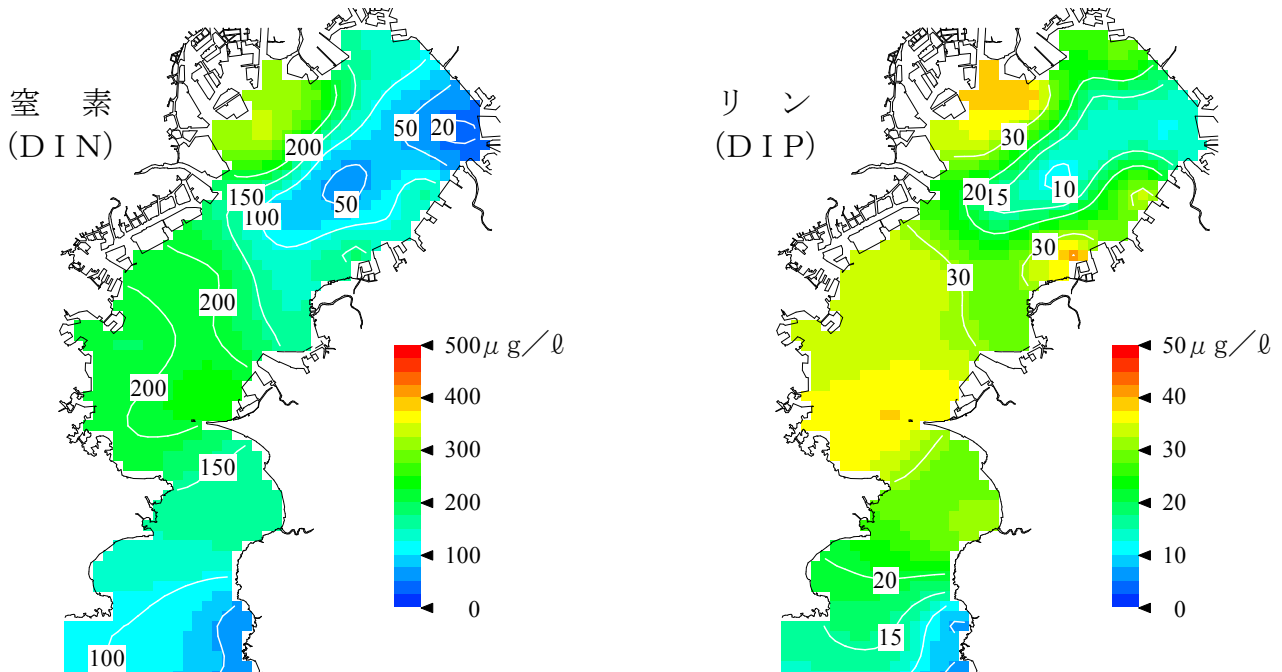


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年10月1日)

川養殖場水温予報のお知らせ(10月上旬開始予定)

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html